

平成9年7月第20号

発行所 那珂郡東海村
村松 1292-2
茨城県弓道連盟
電話 (029-282-3580)

弓道の普及振興に努力する

会員の皆様へ

会長 関 宗長



会員の皆様、お元気ですか。

お陰様で、茨城県弓道連盟は、皆様のたいへんな協力により、着実に、充実発展して参り、全国でのレベルも常に上位にランクされるようになりました。

一方、国内の政治、経済ともに改革の困難に際会しており、このようなときだからこそ、日本の伝統文化である弓道に対する期待が高く、私どもは、更に弓道振興の力をあげるよう努力いたしたく存じますので、いっそうのご協力をお願いいたします。

当面するいくつかの「ご報告」と「お願い」を申しあげたく存じます。

◎平成八年度のご報告から

一、平成八年度の昇段、昇格登録(公格)者数は全国第十位、関東で第三位の成績でした。

二、県連の講習会に力を入れましたが、千円の受講費で十九回、合計六八九名の弓友が受講しました。いっそうのご精進を期待します。

三、全国大会では、全日本選手権大会で張替謙一教士が優秀賞、全日本女子選手権大会で海老根芳江教士が優秀賞を、インターハイでは、石岡高校が優勝したほか、学生、青年の活躍

もめざましく、優秀地連順位も、十一位につけました。

四、文部省認定、日体協公認のC級指導者養成講習会(第一回)に、五十八名参加。今後、指導者には必須のコースです。

五、神栖町弓道連盟が、社会体育優良団体として、文部大臣賞を受賞しました。

六、全日弓連では、日本女子選手権大会に、皇后杯をいただきました。日本体協、五十三競技団体のうち皇后杯をいただいている団体は、八団体しかありません。今年の大会から授与されます。ありがたいことです。

◎お願いしたいこと

一、弓道人口を増やしたい。私どもは、先輩の弓道人にあとがれて弓道に入り、今日があります。

弓道指導者や役員は、社会から尊

文部大臣賞受賞

平成八年度社会体育優良団体として神栖町弓道連盟(高橋平吉会長、会員五十二名)が文部大臣賞を受賞しました。誠にめでたうございます。

この賞は、地域のスポーツ振興に貢献していると共に、その実績が年々向上していると認められる団体を全国より選び、その活動の労と栄を称え贈られるものです。本賞は平成元年に東海村弓道連盟が受賞して以来八年振りの快挙であります。(関連記事は五面に)

神栖町弓道連盟の今後の益々の発展とご活躍を期待致します。

敬され、青少年からのあこがれの人になるよう努力して下さい。そのため、指導者自身が自重自戒、修練し、積極的に諸活動に尽力し、多くの人に、敬愛されるようにお願いします。

二、指導に当たっては、競技中心、試合中心でなく、的中にこだわらない心身修練、人間形成に主力をおき、弓道を仲間とともに、伸び伸びと行われることにより、本人は、一生弓をやるようになります。弓道の真髄を指導して下さい。

三、弓道場、施設、弓具の充実に尽力して下さい。また、高校時代から自分の弓道具(弓、矢、かけなど)弓道衣を持つようにすすめて下さい。よい弓具を所持することは、弓道修練の初歩です。

四、弓道の普及振興や連盟のあり方、運営などご意見がありましたらお寄せ下さい。将来の問題も含め、研究協議して参りたいと存じます。

関宗長会長範士昇格

茨城県弓道連盟 関宗長会長が去る五月二十九日全日本弓道連盟審議会において範士に推挙され、六月十七日に授与されました。

関先生は昭和五二年に当弓道連盟会長に就任され、現在、全日本弓道連盟理事、関東地域弓道連盟連合会副会長の要職に就いており、広く活躍されています。

関範士の誕生により当連盟の現役範士は四名となり、今後の発展が期待される所です。

今後とも県弓連に対するご指導を宜しくお願いしたいと存じます。



文部大臣賞と高橋平吉会長

県内では二六ヶ所で開講

弓道教室アンケート調査

本号で関会長も述べておられますし、昨年の弓道いばらき第十九号誌上で多くの先生方が弓道人口の減少についてその懸念も述べておられました。その中で弓道教室をとおして弓道人口の拡大を図ることが人口減少歯止めとして有意義ではないかとの提言もありました。

そこで、弓道いばらき編集部では現在の弓道教室のアンケート調査を行いましたのでその概要を紹介致します。今後の参考にしていただければ幸に存じます。アンケートは、まず各地区の通信員が各地区での教室開催状況の調査を行い、その後、その調査結果と口コミで伝わって来た弓道教室の先生方へ調査用紙を送付しアンケート形式で調査しました。

アンケート調査の回収率は100%でしたが、受講者数等において過去の人数が不明な教室も多く、統計数値としてはおおよそこの位の人数と言ったと見ていただきたいと存じます。

弓道教室の開催場所は、図-1に示すとおり県内各地区で開講されておりま

す。
表-1に教室名、開催道場等の概要の一覧を示します。読者の皆様の知人、友人等で弓道に興味のある人が居りましたらぜひ、教室を紹介して欲しいと思います。

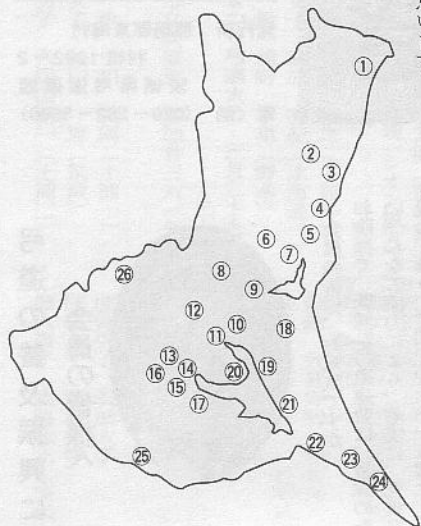


図-1 弓道教室開催場所

表-1 県内弓道教室一覧

番号	弓道教室名	教室開催道場	参加費用 有無	募集人数 (人/回)	問い合わせ先	主催後援等	備 考
1	北茨城市民 弓道教室	市民弓道場	無	制限 無し	箭内 正男 0293-46-2038	北茨城支部 市体育協会	9年度の開催 有無を検討中
2	常陸太田市 弓道教室	山吹運動公園	有	10	竹下 孝雄 0294-72-1327	市中央公民館 市体育協会	
3	久慈公民館 弓道教室	久慈町体育館	有	15	五来 清 0294-52-0100	久慈公民館 日立支部	
4	東海村 初心者 弓道教室	東海南中学校	有	30	木村喜久雄 029-282-3580	村文化スポーツ財団 村弓道連盟	
5	ひたちなか 弓道教室	松戸体育館	有	制限 無し	手塚 栄 029-273-2552	市弓道連盟	昼夜2部制
6	県立武道館 弓道教室	県立武道館	有	60	海老根芳江 029-263-7386	県立武道館 県体育協会	
7	水戸連 弓道教室	県立武道館	有	20	関口宇一郎 029-251-0288	市弓道連盟	9年度新規開 講予定
8	友部町 弓道教室	町立弓道場	有	15	萩原 裕一 0296-77-7474	町弓道クラブ 町体育協会	
9	茨城町本田 弓道教室	本田道場	有	10	本田 省二 029-292-4070		昼夜2部制
10	美野里町 弓道教室	町立弓道場	有	10	赤津 徳 0298-22-9174	町弓道連盟 町教育委員会	
11	石岡市 弓道教室	芹澤道場	有	10	河部 義一 0299-26-0364	石岡弓道会 市教育委員会	
12	八郷町 弓道教室	運動公園	有	5-10	足立 謙造 0299-44-0803	八郷弓道会 町体育協会	
13	新治村 弓道教室	国谷道場	有	5	国谷保五郎 0298-62-4692	国谷弓道場 新治村	随時受講も可
14	土浦市体協 弓道教室	市武道館	有	20	澤田 恒弥 0298-21-4421	市体育協会弓道部 市体育協会	昼夜2部制
15	亀城弓道会 弓道教室	土浦市武道館	有	20	山下 大助 0298-22-8622	亀城弓道会	昼夜2部制
16	筑波大学 公開講座	筑波大学速矢館	有	30	森 俊男 0298-36-3232	筑波大学	講座名スポーツ 教室「弓道」
17	阿見町 弓道教室	阿見中学	有	15	中村 太 0298-87-0863	町弓道部 町教育委員会	昼夜2部制
18	鉾田町 弓道教室	総合公園	有	5	舟橋 正人 0291-32-4779	町教育委員会	
19	玉造町中央公民館 弓道教室	中央公民館	有	10	藤川 良治 02995-5-0354	町中央公民館 町体育協会	
20	出島村体協 弓道教室	富嶋弓道場	有	制限 無し	富嶋新右衛門 0298-98-2755	出島弓道会 村公民館	
21	麻生町 弓道教室	町弓道場	有	7	久保 武一 0299-73-3801	町体育協会弓道部	
22	潮来町 弓道教室	町弓道場	有	10	白鳥 悦男 0299-63-2069	町体育協会 潮来支部	
23	神栖町 弓道教室	町武道館	有	15	高橋 平吉 0478-57-0520	町弓道連盟 町体育協会	
24	波崎町弓道 体験講座	町弓道場	有	10	諸橋 昭 0479-48-1961	町弓道部 町体育協会	初心者教室
25	取手初心者 弓道教室	グリーンスポーツ センター	有	25	浦 康正 0297-79-4825	市弓道部 教育委員会	
26	下館市 弓道教室	市営弓道場	有	20	大泊 孝祐 0296-52-6454	下館支部 下館真射会	昼夜2部制

受講者数は千人を超える

現在までの受講者数は数字に現れてはいるだけでも千人を超えており、表面に表れていない人数も加えると千二百名程度ではないかと思われる。

図1・2表1・2に受講者数と年令、定着状況を示しているが、これによると受講者の約二五％が茨弓連に登録している。平成八年度の登録者数は約千名(学生を除く)であり、その中約三百名が弓道教室出身者ということである。

現在まで毎年登録者数が増加している支部においては、大部分が教室修了者であると思われる。また、登録はしていないが、弓道を継続している人達も約三〇名と大きな値を示している。この弓道愛好者が登録するよう各支部が、何らかの働きかけを行う必要があるのではないだろうか。

女性受講者は男性の一・五倍

図で見られるように女性受講者は男性の約五〇％増しであり、最近の県弓道界における女性の進出と同様の傾向を示している。

これは昨年九月号の弓道誌(全日本弓道連盟)上の表「年度別男女別登録者数」とも一致している。ただ、女性の場合は三十一、四十代は子育て、それ以後も家事等があり連盟への登録者数は男性と同程度となっている。

男性の場合は年令が高くなるにつれて受講者、登録者数共に増加しており

り、これは仕事や生活への余裕との相関がありそうである。

指導者は男性優位?

受講者は女性が多いのに対し指導者は図1・3のとおり男性の占める割合は女性の約三倍となっており圧倒的に男性が多い。

その中でも五十代が最も多く段別では図1・4とおり五段、四段、錬士の順となっている。男性指導者が多い理由の一つとして、従来、弓道人口は男性が多く、女性の増加が目立って来たのは最近のことであり、まだ女性の指導者層は少ないものと思われる。男女の差による実力・指導力の差があるとも考えにくく、今後、女性の指導者の増加に期待したい。

指導者、受講者の職業についてまとめてみると図1・5のようになる。

主婦については大きな違いはみられないが、会社員は受講者側に多く、無職は、指導者側に多くなっておりここでも仕事との関係がありそうである。昨年応募した「C級地域スポーツ指導者養成講座」には五十余名が受講している。今後、各教室の指導者としての活躍が期待されているところである。

教室の開催内容

アンケートでは開講期間、時間、受講費用等についても調査を行った。その概要を以下に述べる。

一、開催期間等

大概の教室は春から夏に開講し、期間も最大一年から短いところで一ヶ月で平均約半年といったところである。

時間帯は様々であり、昼夜の二部制をとっている教室もある。昼間は主婦層、夜間はサラリーマン層に都合の良い時間となっている。応募は大部分が地方自治体の広報誌で周知しており、そのため参加資格としては、開催市町村の居住者又は勤務者に限られているところが多い。

二、修了後の継続について

教室修了者で継続を希望する者には受け入れ先として指導者の支部に所属するという例が最も多く、支部での指導を受け、段位を取得することにより永続する傾向が高い。

三、受講費用

受講のための費用は無料から八千円まで幅広い。平均的には三千円程度であり、傷害保険、消耗品費に当てている教室が多く、指導者への謝礼はないようである。

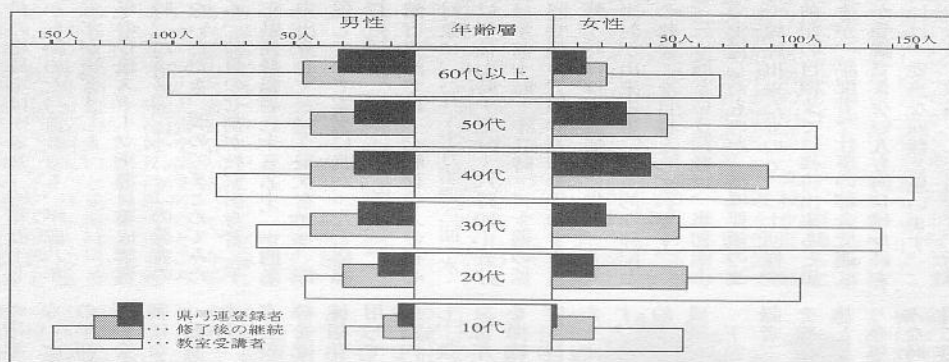
四、教室の歴史

最も古くから継続しているのは麻生町で昭和三十年に開設している。三分の一近くは平成になってからの教室で県西、県南方面に昭和からの教室が多い。

五、その他

ほとんどの教室は市町村、又はその関係団体と連携をもっており、公的援助についての有無の割合は半々である。その内容は道場使用料の免除、消耗品等の援助が目立っている。

図一 2



1. 教室受講者の年令層 (教室開講以来の男女人数累計)

表一 2(1)

	受講者数		教室修了後の継続者	
	(人)	(人)	(%)	
男	411	222	54.0	
女	617	268	43.4	
計	1028	490	47.7	

表一 2(2)

	県弓連登録者数		未登録者数		教室受講者の 県登録割合 (%)
	(人)	(人)	(人)	(人)	
男	128	94	31.1		
女	128	140	20.7		
計	256	234	24.9		

3. 現在の指導者層の構成 (アンケートで判明した構成人員のみ)

(1) 男女の年齢層 (人数)

図-3



(2) 男女の段位 (人数)

図-4



4. 指導者、受講者の職業別構成 (%)

図-5

指導者	会社員 (20.4)	公務員 (11.4)	自由業 (8.0)	教員 (4.5)	主婦 (18.2)	無職 (19.3)	その他 (18.2)
受講者	(28.4)	(13.7)	(11.1)	学生 (5.7)	(18.6)	(14.4)	(8.1)

後継者育成が問題

アンケートの中で教室のもっている悩みや他の教室へのアドバイス等も記入していただきましたのでその一部を紹介致します。

- (一) 有段者に対する指導よりも初心者に対する指導の方が難しい。初心者指導のための指導計画、指導書等を県弓連で作成してもらえないか。
- (二) 個人の道場借用の場合は電気料や施設の修理負担等が大きい。
- (三) 指導者自体が高年令なので後継者の育成に心掛けています。
- (四) 教室そのものより修了者のアフターケア(段を取得するまで継続させている。

ること)が大切である。

(五) 教室での練習と教室以外での指導方法に違いがあると受講生は混乱する。

(六) 教室修了者に修了証を渡したところ大変喜ばれた。

(七) 遊び心の人でも入り易いよう「弓道体験講座」としてが意外に継続者が多い。

(八) 弓道教室等で指導者は地味な活動が続いている。陽の当る処遇が何らなされていないのは残念である。今後の弓道人口の増否に係わるものと思

最後に編集部より

今回の調査で当初考えていたよりも多くの教室が開催されているのに驚いております。それだけ指導者の皆様が弓道に熱心に取り組んでいる結果がここに出てくると思います。教室の開催場所に漏れはないと思いますが、もし、これ以外に教室がありましてご連絡下さい。次号以降に引き続き掲載させていただきます。

調査内容で細かいことまで教室の皆様にお願いましたが、心良く調べていただき厚くお礼申し上げます。

弓道日誌を活用

下館市弓道教室

会員の増員をはかる為、昭和五十七年頃から始めた弓道教室も、平成八年で十五年が過ぎました。

昨年のC級スポーツ指導員養成講習会の時、「弓道教室について」の発表の機会をいただき、改めてまとめてみたところ、会員の七割が教室出身者(平成八年県連登録者三十五名中二十四名が教室出身者)という現状を知り、毎年開催していただいていたと痛感しました。

下館市支部では、一般社会人の初心者を対象に、六月・十月頃週三回(水・土曜は午後七時十五分・八時四十五分・日曜は午前十時・十二時)×十週の延三十回で行い、始めて弓を手にする人が、修了時には審査要領に従い、五人の坐射が出来る事(基本的な体配と射法の修得)を目標としています。

延、三十回という回数は、当初四十回で実施したものが、指導要領の改善等で短縮出来たもので、二十回程度でも前記の目標までは修得出来ると思えますが、年配者や仕事の都合で週二回しか受講できない人も同レベルにする為には、妥当な回数だと思います。

生徒数は、数名・二十名程度、指導者は毎回主任一名と助手一・三名で対応します。主任指導者は三名程度で担当日を固定し、指導内容・言動が多様化しないよう注意します。(初心者への指導は少数の方が生徒さんが混乱しないと思います。)助手は、受講生がその年初段を取得すれば、翌年からは手伝いをお願いし、数年後には主任指導者になります。

教室期間中二冊の弓道日誌を記入します。一冊は指導者用で、指導内容、各生徒の課題・次回への送り送り事項等を記入し、指導の統一をはかり、生徒相互のレベル差を少なくする為に使用しています。もう一冊は生徒用で、受講内容、感想、個人の疑問点を記入し、後の指導の参考にします。

毎年五月頃に下館市旬報に募集要項を掲載、まず説明会を開催し、日程・内容・目標等を説明し理解していただいた上で申込を受付し、教室を開始します。過去五年の人数の平均は、申込者約十二名・卒業生約八名、会員として残った人約四名です。

下館市支部が三十年、毎年県連登録者三・四十名、昇段者十・二十名を維持している最大の要因は、毎年実施している弓道教室によりです。

今年もどんな出会いがあるか、楽しい時期がまた来ます。会員の協力を得て弓道の楽しさ、素晴らしさ、一人でも多くの人に伝えられるよう頑張ります。

(大泊 孝祐)

活動状況報告

神栖町弓道連盟 高橋 平吉

昭和四十九年に神栖町弓道連盟が結成され、昭和六十二年五月待望久しかった武道館が竣工、弓道活動が本格的に始まった。現在会員は四十一名で、称号者四名が指導にあたっている。運営方針としては、弓道を通して健康と健全な精神を養い、生涯スポーツとして発展をはかる。

現在火曜日の昼間は、主婦、初心者練習し、夜間は勤務者が練習している。土曜日は大会、審査前の合同練習を行い、日曜日は対外行事への参加が主となるが月例会に当てることもある。月例会は一手行射(射詰、射込、四矢二回)合計十射の競射で行われ、その他伝達講習を行い会員への周知を図っている。主催事業は、年八回(一)鏡開き(射初め)(二)ひな祭り射会



神栖町支部

(三)花見射会(四)春季大会(五)秋季大会(六)鹿行ブロック県民スポーツ大会(七)弓道教室(八)納射会。対外行事への参加は平成七年度(三七回)二五〇名、県弓連事業参加と交流親善射会等である。

私が横浜から赴任当時、「陸の孤島」と言われた神栖に根をおろし、砂丘の上での第一回弓道大会から、二十年が過ぎ誠に感慨無量であった。

計らずも神栖町弓道が平成八年度社会体育優良団体文部大臣表彰の荣誉に輝き会員一同感謝している。

推薦理由は(一)昭和五十八年七月第一回神栖町弓道教室開講以後平成七年まで十三回開催し、その間の参加者は一九〇名であった(二)講習会の開催、県弓連より講師を招請して毎年開催地域の弓友が参加し、体配並びに射法、射技の習練を行っている。(三)審査、大会等の県連事業の運営に積極的に参加協力している。(四)国民体育大会への出場、平成三、四、六、七年と四回にわたり選手として男一名、平成二年国体関東ブロック大会に女子三名出場(五)県大会での優勝、春季大会男一名、射形優秀一位男一名、県選の大会、男女各一名、中野杯記念大会男女一名、県女子大会三名、射形優秀一位女一名、(六)教室修了者で初段以上の審査に合格した者延一〇二名を数える。

地域スポーツ振興の貢献度と活動運営が定期的、計画的、組織的に行われていたことが認められたものと思います。

我が町の弓道大会

“土浦桜まつり弓道大会”

星 喜進

“ヨッシャー”元気な高校生の応援の声が響き、土浦桜まつり弓道大会も佳境に入ってきました。

この弓道大会がいつ頃から続けられているのか調べてみましたので紹介いたします。

土浦は、土浦藩の頃より弓術が盛んであり、その伝統が引き継がれ、戦後もいち早く個人道場や警察署・自衛隊の道場等で弓を引く人が多かったようです。昭和二十一年土浦市体育協会が発足と同時に弓道部が設置され、弓道愛好者が一つにまとまることとなりました。昭和三十九年に土浦城跡公園外堀に市営弓道場が建設されてから愛好者も飛躍的に増加し、翌四十年四月に第一回桜まつり弓道大会が開催されました。この道場は矢取り道の後ろに桜並木の土堤があり、ちょうど桜の満開の時期に行われる桜まつり弓道大会の時は、矢道の上まで満開の桜の枝が垂れ下がり、桜花の下を矢通しするのは何とも風情のあるものでした。土堤の



土浦支部 桜祭り弓道大会矢渡し

上には花見がてらの見物客も多く、また立派な待合間に公園の花見をしたり、土浦桜祭りの催し物や野立てなどを楽しむことができ、弓と桜とまつりを楽しむ大会でありました。

平成元年に現在の市立武道館弓道場が完成し、道場から直接桜を見る事ができなくなりましたが、道場も広くなり、近隣の中学・高校生と一般の弓道愛好者が四〇〇人近く参加する盛大な大会が行われるようになりました。参加者も増加の一途です。で、平成九年度からは、学生の部と一般の部の二日にわたる大会とし、一般の方々もゆつくりと大会を楽しめるようになりました。大会が終わった後は、近くの桜川の土堤で花見をしてもよし、土浦桜まつりを見学してもよし、弓と桜とまつりを楽しめる土浦桜まつり弓道大会に是非おいで下さい。

東海村“村松山弓道大会”

木村 喜久雄

わが村のビックなイベントは春の行事「東海村桜まつり」そして「村松山虚空蔵春季大祭」の一つとして定着している村松山弓道大会があつて、今年で第二十一回の大会を済ませたところである。現在、東海村には県弓連登録支部が五団体あり、村内における弓道活動は各支部独自のものと東海村弓道連盟(村の体協加盟団体)のもとに協力し合い、和気藹々のなかで研鑽をし、各種大会等も行っている。村松山弓道大会が村当局をはじめ体協、観光協会、虚空蔵寺など多くの関係者に支えられて二十回余も続き、さらに将来

ともに開催し、続けられることは村内五支部の日頃の融和と、これによって二十年も続けてきた小学四年生以上対象の弓道スポーツ少年団弓道教室の実績に対する評価ではないかと思うものである。

さらに、この大会には弓道スポーツ少年団で学んだ弓道の成果を発表する場として小学生の部という競技種目(村外の小学生の参加も可)や中学生の競技種目も設けており、異色の大会として応援を頂いていることにもよる。

大会は水戸八景の一つ、晴風の碑のある松に囲まれた広場に十人立の野外特設射場で実施するのが常である。

競技種目には採点的使用小学生の部と、通常の的使用小学生の部、高校一般の部とあつて、小学生の部以外は十人の同時打越しの四ツ矢的中数によって即表彰をする。特に閉会式はなく、流れ解散としている。但し、(一)四ツ矢皆中者による射詰、(二)皆中者三人以上、いなければ三中者も含んで一位、二位、三位の順位決定戦、その後は白木板割り余射があるが希望者のみとしている。毎年四百名位の参加者であるが、十三時頃には全て終了である。来年も是非ご参加下さい。



村松山弓道大会風景(小学生の部)

茨城弓道歴史年表(6)

昭和30年

9月11日 第2回勝田市弓道大会
 10月2日 第19回日立多賀弓道振興会
 10月16日 県弓道20周年記念近県大会
 10月23日 第45回茨弓連秋季大会
 11月3日 笠間稲荷社流鎗馬神事
 11月12日 第5回笠間観菊弓道大会
 11月20日 第5回勝田市市長杯50射会
 11月23日 八郷町柿岡文化祭弓道大会
 12月18日 第20回日立多賀弓道振興会

昭和31年

1月7日 水海道弓道会結成
 1月14日 鈴木繁一氏没(51)※1
 2月5日 第2回茨城対東京教錬士試合
 2月19日 第1回土浦市武道振興大会
 2月26日 茨城県連東西対抗戦
 3月15日 大内義一氏没(76)※2
 3月21日 第47回茨弓連春季大会
 4月1日 水戸少年刑務所弓道場新設
 4月13日 石岡市武道振興会結成式
 4月15日 県審査会
 同 笠間弓道会送別射会
 4月20日 茨大対磯原高校弓道部交歓射会
 4月22日 第21回日立多賀弓道振興会
 5月5日 大洗つじ祭弓道大会
 同 永井熊之助氏没(63)※3
 5月15日 荒木四郎氏宅弓道場開き
 5月30日 鹿島神宮流鎗馬神事
 6月10日 佐藤洋之助範士昇格祝賀射会

小野崎 紀男

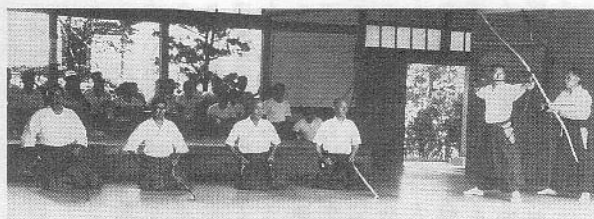
※1 結城の人、武徳会弓道錬士
 太田高女(太田二)に勤務
 ※2 太田の人、本多利実に学ぶ
 武徳会弓道錬士
 旧制第一高等学校(東大)
 ※3 学習院大弓道師範
 茨城町の人、
 武徳会弓道五段

昭和32年

1月15日 水海道柔剣弓道振興会弓道
 寒稽古納会
 1月18日 「日本弓道連盟」を「全日本
 弓道連盟」と改称
 2月17日 水海道柔剣弓道振興会県下
 弓道大会
 3月17日 石岡市武道振興会結成
 4月7日 県弓連春季審査
 4月14日 茨城県弓道協会発足射会
 4月29日 鹿島神宮奉納弓道大会
 4月— 高体連弓道専門部設立
 5月2日 全日本弓道連盟、茨城県弓
 道連盟を除名し、茨城県弓
 道協会加盟を承諾



夏期大学弓道研究会(写真提供 小林輝夫氏)
 昭和27年8月水戸志村道場



第3回東日本勤労者弓道大会(写真提供 小林輝夫氏)
 昭和31年9月常陸多賀清和館

教士
 国谷 保五郎(新治 仙台77)
 錬士
 浅野 好次(潮来 東京特別47/19)
 松尾 秀夫(高萩 推薦24/19)
 辻松 秀利(水戸 仙台7/8)
 中井川 一郎(ひたちなか 仙台7/8)
 河須崎 恒(鉾田 高崎8/19)
 丸山 真一(取手 宇都宮10/27)
 高野 順子(ひたちなか 名古屋12/15)

昇格おめでとうございます。
 平成8年度「中央審査」
 「錬士審査」合格者

【平成8年度審査結果一覧表】(審査部)

段数	受審者数	合格者数	合格率(%)
級	455	455	100
初段	497	458	92.2
二段	264	251	95.1
三段	125	50	40.0
四段	88	24	27.3
五段	98	15	15.3
計	1527	1253	82.1

平成6～8年度 茨城県弓道連盟B審査学科問題一覧
(審査部)

査定・初段	<ul style="list-style-type: none"> あなたは弓道をどのような気持ちで学んでいるか。 弓道八節を列記せよ。 弓道八節を列記し、簡単に説明せよ。 足踏みについて述べよ。 胴作りにについて述べよ。 あなたは弓道のどんなところが好きですか。 弓道に入門してよかったと思うことを述べてください。 弓道八節を列記し足踏みについて述べて下さい。
二段	<ul style="list-style-type: none"> 胴作りにについて述べよ。 平常心とはいかなることか述べよ。 あなたは何をめざして弓道の練習をしているのか述べよ。 引き分けについて述べよ。 弓道を修練して感じていることを述べよ。 残心(身)はなぜ大切かを述べよ。 あなたは弓道のどんなところが好きですか。 弓道八節を列記し足踏みについて述べて下さい。 弓道八節を列記し胴作りにについて述べて下さい。 弓道を学んでよかったと思うことを述べて下さい。 三重十文字について述べて下さい。 正しい射形はいかに大切か述べよ。 詰合について述べよ。 弦切れ(失)の処理について述べよ。 甲矢こぼれ(失)の処理について述べよ。
三段	<ul style="list-style-type: none"> 五重十文字について述べよ。 会について述べよ。 弓道修練で心がけていることを述べよ。 息合について述べよ。 弓道と他のスポーツの差異について述べて下さい。 弓道修練であなたが得たものは何か述べて下さい。 詰合、伸び合の大切な理由を述べなさい。 引き分けにおける大三の重要性について述べよ。 三重十文字について述べて下さい。
四段	<ul style="list-style-type: none"> 弓道修練で心がけていることを述べよ。 息合について述べよ。 弓道の最高目標について述べよ。 基本動作の心得について述べよ。 弓道修練であなたが得たものは何か述べて下さい。 弓道と他のスポーツの差異について述べて下さい。 三重十文字について述べて下さい。 正しい射形はいかに大切か述べよ。 引き分けにおける大三の重要性について述べよ。

平成8年度

県外競技会入賞者

(一般)

第45回住吉大社奉納全国遠の大会

大阪(5/1)

一般の部

3位 松尾 牧則(清真学園)
第47回全国日本弓道大会(京都5/2)

錬士の部

2位 松尾 牧則(清真学園)
第34回関東東教職員大会(鹿沼7/7)

女子の部

2位 飯島 和美(千代田)
団体の部

3位(萩原裕一 前野秀明)

栗原博明

第51回国民体育大会関東ブロック大会

(神奈川8/25)

成年女子

近の 1位 遠的 3位

総合1位(国体出場代表権獲得)

石井幸子(水戸) 中山小百合(千代田)

中川裕恵(筑波大)

第47回全日本弓道選手権大会

優秀賞 張替 謙一

第29回全日本女子選手権大会

優秀賞 海老根芳江

第51回国民体育大会(広島10/12・16)

成年女子

近の 5位 遠的 8位 総合5位

石井幸子(水戸) 中山小百合(千代田)

中川裕恵(筑波大)

第45回全国青年大会(東京11/10)

団体の部

個人の部

優勝 茨城県(八郷町) 鈴木美徳

上田和子 池田秀臣 飯島和美

優勝 池田 秀臣(八郷)

第47回東京都三十三間堂大の大会

(H9/1/15)

参段以上の部

2位 松尾 牧則(清真学園)

第24回全自衛隊大会(東京19/2/16)

女子の部

優勝 青成 良子(航空自衛隊百里)

一段以下の部

2位 大西 信明(航空自衛隊百里)

第45回住吉大社奉納全国遠の大会

(大阪5/1)

大学の部

女子団体の部

3位 筑波大学

第44回全日本学生選手権大会

(東京8/4・6)

女子団体 優勝 筑波大学

第45回関東甲信越大学体育大会(8/8・9)

男子団体 2位 筑波大学

女子団体 1位 筑波大学

女子個人 1位 萩原佐知子(筑波大学)

2位 原嶋 理江(筑波大学)

第28回関東学生弓道大会(東京11/3)

第23回全国中学生通信弓道大会(7/22)

第15回関東高校弓道個人選手権選抜大会

(東京9/14・15)

女子個人

優勝 井坂 梓(佐竹高)

準決勝進出者(3位1・5位)

中島修一(佐竹高) 横島直之(八千代高)

大久保治雄(石岡商高)

男子個人

準決勝進出者(3位1・4位)

吉島美貴(石岡商高) 川崎美香(日立商)

第23回全国中学生通信弓道大会(7/22)

女子個人 2位 増田 紀子(朝日中)

第40回関東高校弓道大会(東京5/31・6/2)

女子個人 2位 筑波大学

第41回全国高校総合大会(山梨8/5・8)

第51回国民体育大会関東ブロック大会

(神奈川8/25)

少年男子

近の 4位 遠的 8位 総合7位

少年女子 近の 2位 遠的 1位 総合2位

(国体出場代表権獲得)

男子技能優秀 団体 石岡商業高校

男子技術優秀 団体 石岡商業高校

男子団体優勝 石岡商業高校

第40回国民体育大会関東ブロック大会

(神奈川8/25)

男子個人 2位 内田 健一(茨城東)

3位 岩島 佳世(下館一高)

女子個人 2位 筑波大学

第40回関東高校弓道大会(東京5/31・6/2)

第40回関東高校弓道大会(東京5/31・6/2)

女子個人 2位 筑波大学

男子個人 1位 筑波大学

女子団体 1位 筑波大学

男子団体 1位 筑波大学

男子個人 1位 筑波大学

女子個人 1位 筑波大学

男子個人 1位 筑波大学

女子個人 1位 筑波大学

男子個人 1位 筑波大学

女子個人 1位 筑波大学

男子個人 1位 筑波大学

女子個人 1位 筑波大学

男子個人 1位 筑波大学

女子個人 1位 筑波大学

平成8年度茨城県弓道連盟各種大会結果

(競技部)

月日	大会名	表彰	第一位	第二位	第三位	最高得点者
4/21	春期大会	団体 男子個人 女子個人 称号受有者 団体優秀 個人優秀	千代田B 金井一夫(水戸) 中山小百合(千代田) 安藤延典(牛久) 水戸A 萩谷好浩(ひたちなか)	八郷A 園部俊雄(友部) 上田和子(八郷) 北沢俊男(百里) 土浦B 飯岡富男(茨城町)	水戸A 平戸信行(ひたちなか) 中川裕恵(筑波大) 久松正己(竜ヶ崎) ひたちなかB 中山小百合(千代田)	
4/21	県武道館 親善大会	一般 称号受有者	中山小百合(千代田) 安藤延典(牛久)	金井一夫(水戸) 北沢俊男(百里)	平戸信行(ひたちなか) 久松正己(竜ヶ崎)	
4/14	遠的大会	男子の部 女子の部	松尾牧則(清真学園) 藤井幸子(千代田)	小堀祐司(ひたちなか) 斎藤 泉(水戸)	高木 勉(藤代) 村上美保(友部)	
6/23	県民総体	成年男子 成年女子 称号受有者	星 正彦(土浦) 館 恵子(千代田) 久保田清(藤代)	平戸信行(ひたちなか) 石井幸子(水戸) 国谷保五郎(新治)	石井 誠(ひたちなか) 原嶋理江(筑波大) 星 善進(土浦)	
5/26	県選手権 大会	参段以下 四段以上	杉山義光(百里) 村山久行(日立電線)	根本栄治(ひたちなか) 香掛忠三(原研)	相巢博之(東海村役場) 萩谷好浩(ひたちなか)	中山小百合(千代田) 長谷川仁(土浦)
6/2		称号受有者	小泉民男(原研)	久保田清(藤代)	張替謙一(三和)	久保田清(藤代)
9/1	中野杯	成年男子 成年女子 称号受有者	渡辺専二(ひたちなか) 中山小百合(千代田) 中村 太(阿見)	相巢博之(東海村役場) 尾科恵子(石岡) 久保田清(藤代)	星 正彦(土浦) 小田倉悦子(水戸) 星 喜進(土浦)	
10/20	支部対抗		友部A 広水 綱川 相馬	大子 阿久津 益子 吉成	土浦A 松崎 岡野 星	

平成8年度講習会実施状況一覧

(指導部)

講習会名	実施日 (月日)	場 所	受講者数 (名)	講師数 (名)	申込者数 (名)	受講率 (%)	備考
五 段 以 下	6/29	県 立 武 道 館	38	5	69	55.0	
五 段 以 下	6/30	〃	66	7	76	86.8	
土 浦 地 区	7/14	土 浦 武 道 館	27	2	42	64.3	
伝 達	7/21	県 立 武 道 館	59	5	75	78.7	
四 ・ 五 段	8/11	県 立 武 道 館	54	2	68	79.4	
教 職 員	8/30	石 岡 商 業	22	2	24	91.7	
教 職 員	8/31	〃	19	2	24	79.2	
県 南 地 区	9/ 7	取手スポーツセンター	27	2	29	93.1	
鹿 行 地 区	9/15	潮 来 高 校	30	2	37	81.1	
石 岡 地 区	9/22	八 郷 町	32	2	37	86.5	
五 段 以 下	10/27	県 立 武 道 館	56	4	70	80.0	
日 立 地 区	11/ 9	原 研 道 場	41	4	49	83.7	
五 段 会	11/24	酔 心 館	19	2	19	100.0	当日受付
称号受有者	12/ 8	県 立 武 道 館	26	2	34	76.5	
石 岡 地 区	1/26	酔 心 館	36	2	47	76.5	
錬 士	2/11	県 立 武 道 館	16	1	17	94.1	
水 戸 地 区	2/15	県 立 武 道 館	39	2	43	90.7	
県 西 地 区	2/16	日 立 化 成	24	2	29	82.8	
女 子	2/16	県 立 武 道 館	58	5	74	78.4	
合 計	19回		689	55	863	79.8	

平成9年度茨城県弓道連盟会員数

平成9年6月13日現在

No.	支 部 名	一 般	錬 士	教 士	範 士	計	No.	支 部 名	一 般	錬 士	教 士	範 士	計
1	大宮町	4	1			5	40	千代田町	9				9
2	水府村	4				4	41	美野里町	17		1		18
3	大子町	17				17	42	八郷町	17				17
4	那珂町	6		2	1	9	43	麻生町	18			1	19
5	常陸太田市	15	3			18	44	潮来町	16	2			18
6	茨大教職員		3			3	45	鹿嶋市	7	1			8
7	北茨城市	12				12	46	神栖町	24	3	1		28
8	原研(東海)	10	3			13	47	北浦村	5				5
9	高萩市	12	1			13	48	玉造町	6				6
10	東海村	28	2	1		31	49	波崎町	12				12
11	東海村役場	23				23	50	銚田町	7	3			10
12	動燃	7				7	51	三菱化学	3				3
13	日鉱金属	5				5	52	阿見町	8	2			10
14	日製(国分)	13				13	53	土浦亀城	27		1		28
15	日製(多賀)	5				5	54	土浦市	43	6		1	50
16	日製(日立)	16	1			17	55	つくば市	15				15
17	原電(日本原子力発電)	4	1			5	56	出島村	11				11
18	日立市	33	1			34	57	新治村	20		1		21
19	日立市中央	18				18	58	古河市	11				11
20	日立市役所	3				3	59	境町	4	1			5
21	日立セメント	10	1			11	60	三和町	15	1	2		18
22	日立電線	13				13	61	下館市	20	3			23
23	茨城県庁	11				11	62	日立化成	14				14
24	茨城高専	9				9	63	東村	5				5
25	茨城町	4				4	64	牛久市	9	1	2		12
26	内原町	6	1			7	65	新利根町	8				8
27	大洗町	2	1			3	66	取手市	30	4	2		36
28	笠間市	5		1		6	67	藤代町	21	1	1		23
29	教育庁	14	4	1		19	68	守谷町	7				7
30	原研(大洗)	4	1			5	69	竜ヶ崎市	5	1			6
31	友部町	19	3	3		25	70	茨城大学	20				20
32	日製(映M東海)	3				3	71	シオン短大	8				8
33	日製(水戸)	5				5	72	清真学園短大	2	1			3
34	ひたちなか市勝田	16	4	1		21	73	筑波大学	26				26
35	ひたちなか市湊	21	2		1	24	74	常盤大学	17				17
36	みと葵	9				9	75	図書館情報大	16				16
37	水戸市	93	7	2		102	76	流通経済大	7				7
38	石岡市	29	8			37	計		1,028	78	22	4	1,132
39	空自(百里)	10				10							

○は新規登録支部

事務局だより

活性化元年と位置付け

本年度を弓道連盟活性化元年と意識し、弓道人口減少傾向に対する施策・健全財政に関する施策等を具体的に提案し、会員各位のご理解を頂きながら連盟運営を担当してまいります。どんな小さなことでも理事長なり、担当部長と対話下さるようお願いいたします。

皆様へお願いすること

(一)平成八年度総会において承認された優秀支部及び個人の表彰制度を年内に実施したいと予定しています。みなさんの支部の活動歴を整理してお

て下さい。(弓道教室歴・団体/個人大会入賞歴など)

(二)高校で弓道部活をした人が卒業後の弓道の受皿がなく、弓道から離れたことは実に残念なことであります。

会員の中で、ご自分の出身校弓道部OB支部を結成し、後輩の受皿として県連に支部登録をしては如何でしょうか。関係者のご尽力を期待しております。

(三)県連主催講習会は受講料制としてから受講生数十名に対し、講師一名の割合で講師委嘱をしている関係上、受講申込みをしただけに参加されるようにして下さい。欠席の時は十日前に届け出るよう協力下さい。

(四)取りあえず大会申込みをしてお

こうという考えを改めて下さい。「申込んだら必ず参加」がルールと心得て下さい。

(五)大会別地区当番をお願いしていますが、これは相互の奉仕であり、当番地区の委員長へ必要人数をご連絡しますので、ご充当下さるよう、当該委員長へご協力下さい。

(六)立射等で受審される場合は審査請求書にその旨を朱書することが必要です。但し県内審査においては所属支部長又は、顧問の添え書を添付して下さい。(審査請求書に記載すること可)

(理事長)

◆県内各地区の弓道大会成績◆

県西弓道大会 平成九年一月五日

五櫻館弓道場 参加者一七七名

団体優勝 栗橋A

個人優勝

高校生の部 高野 天弘(茨城東)

一般の部 穴戸 真理(シオン短大)

技能優勝

高校男子 谷沢 裕之(下館二)

高校女子 篠原 有紀(水海道二)

一般 館野 千里(野木)

土浦桜まつり弓道大会 三月二十九日

土浦市立武道館 参加者三六一名

優勝

中学生 中川 義則(土浦一)

高校女子 矢口 恵(筑波)

高校男子 久保田浩一(土浦二)

一般 高橋昌子(八郷)

村松山弓道大会 四月六日

原研弓道場 三七六名

小学生の部

優勝 在家 南(白方小)

中学生の部

四ツ矢皆中、三中賞等(氏名略)

高校一般の部

射詰 大貫寿明(佐和高)

優勝 佐藤 葉子(石岡高)

皆中賞三中賞等 略

板割的中賞 三十名

茨城県大学弓道大会 四月六日

鉦田運動公園(七大学 七十名)

優勝

団体男子 茨城大学

団体女子 茨城大学

個人男子 塩脇敏正(茨城大学)

個人女子 佐々木未来(図書館情報山ざくら弓道大会 四月十三日)

風遊館(国谷)弓道場 一〇四名

射詰優勝 清水 匡(土浦)

射詰優勝 小野田文雄(下館)

金の賞 三名

神栖町弓道大会 五月十八日

神栖町武道館 参加者一六名

高校個人

射詰 伊東智也(銚子西)

優勝 小野寺啓(神栖)

一般個人

射詰 林 朱美(佐原)

優勝 川瀬政人(神栖)

高校団体

優勝 銚子西Cチーム

一般団体

優勝 鹿島弓道研究会

今号では一面トップに神栖町支部の文部大臣賞受賞と関会長の範士昇格という喜ばしい記事をお載せすることが出来、大変嬉しく思っております。また、次号にもこのような記事を掲載できることを願っております。

今回は特集として弓道教室を取り上げてみました。昨年末より準備をして参りました。開校教室の調査、アンケートの集計に思わぬ手間がかかり発行が予定より一ヶ月遅れとなってしまいました。当初はもう少し掘り下げた内容を考えておりましたが、能力不足もあってこの程度になってしまいました。弓道教室を開催している支部を代表して下館市弓道教室に内容を紹介していただきました。本教室は過日のC級指導者講習会でも紹介されました。他の教室の参考にしていただければ幸いです。

今回は新たに県内各地区の弓道大会を紹介致しました。各大会ともそれぞれの地域が特色のある運営されていることを知りました。次号以降も投稿等よろしくお願い致します。また茨弓連の後援を受けている各地区の大会の成績も掲載することとしました。今回は平成九年一月以降の大会で結果が届いている大会に限らせていただきましたが、これ以後の大会成績については次号に続くというこ

後記編集

編集長 宮崎 康美

編集委員 竹下 孝雄

通信員 堀山 博正

増田 英一

県北 岡部 秀治

日立 浅井 敏久

水戸 手塚 栄

石岡 森 昭夫

鹿行 高橋 平吉

土浦 星 喜進

県西 中嶋 鉄郎

県南 安藤 明子

大学 塚本 重毅

高体連 前野 秀明

中体連 佐久間和彰